



管内のあらまし

名張市

伊賀市

三重県伊賀建設事務所

伊賀地域の概要

地形

三重県の西北部で関西圏と中部圏のほぼ中央に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しているなど、古くから関西圏との交流・連携が盛んな地域です。
また、東に鈴鹿山脈、布引山地、西に笠置山地、南に宇陀山地、北に信楽高原といった標高500m～800mの山々に囲まれた内陸盆地であり、この盆地内の標高は130m～160mで柘植川、服部川、木津川、名張川などが流れ、旧上野市街、名張市街などを潤し、その全ては最後に淀川となって大阪湾に注いでいます。
伊賀市と名張市からなる当地域の総面積は、約688km²で県全体の12%を占めています。

気候

内陸型盆地特有の気候で、年平均気温が14℃前後と県内でも比較的低く、気温の日格差、年較差が大きいといった特徴を有しています。年間降雨量は1,400mm程度で、地形的な要因から夏には梅雨、春秋には霧が多く発生します。

人口

令和2年国勢調査(令和3年11月30日)によると、人口は165,153人であり、県の総人口に占める割合は約1割です。昭和40年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、2市とも減少していましたが、その後、徐々に増加し、昭和55年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続きました。これは、伊賀南部の近鉄大原線沿線の住宅開発などに起因するもので、昭和50年からの25年間で名張市では約2.4倍に増加しました。しかし、現在、管内人口は減少に転ずるとともに高齢化が進行しています。

交通

道路網については、東西幹線として名阪国道、国道25号、国道163号、国道165号があり、南北幹線として国道368号、国道422号があります。なかでも、名阪国道は昭和40年に開通し、物流の大動脈として地域に飛躍的な発展をもたらしてきました。
鉄道については、東西に北部のJR関西本線、南部の近鉄大原線があり、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道があります。また、北東部にはJR草津線が通っています。

観光

伊賀地域は、俳聖歌、芭蕉翁生家、裏虫庵など松尾芭蕉ゆかりの地をはじめ、伊賀上野城、伊賀流忍者博物館、だんじり会館、健康の辻、観音堂寺正堂、新大仏、名張藤堂家邸、美旗古墳群など歴史的資源に恵まれています。
また、室生赤目青山園定公園や鈴鹿園定公園、赤目一志峡県立自然公園の一部を有しており、青山高原、赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪といった自然景観に優れた地域でもあります。
さらに、岩倉峠公園、阿山ふるさとの森公園、鳥ヶ原温泉やぶつちや、大山温泉泉さびの、三重県上野森林公園、余野公園、長坂山トレッキングコースなどの自然志向型の観光施設の整備も進められています。

管内市の概要

	平成27年人口	令和2年人口	令和2年/平成27年(%)	総面積(km ²)	令和2年人口密度(km ² あたり)	令和2年世帯数	財政力指数(令和元年～3年) ※全国自治体の平均
伊賀市	90,581	88,766	98.0	558.23	159.0	36,615	0.622
名張市	78,795	76,387	96.9	129.77	588.6	31,466	0.674
管内計	169,376	165,153	97.5	688.00	240.0	68,081	
参考(三重県)	1,815,865	1,770,254	97.5	5,774.47	306.6	742,598	*0.581

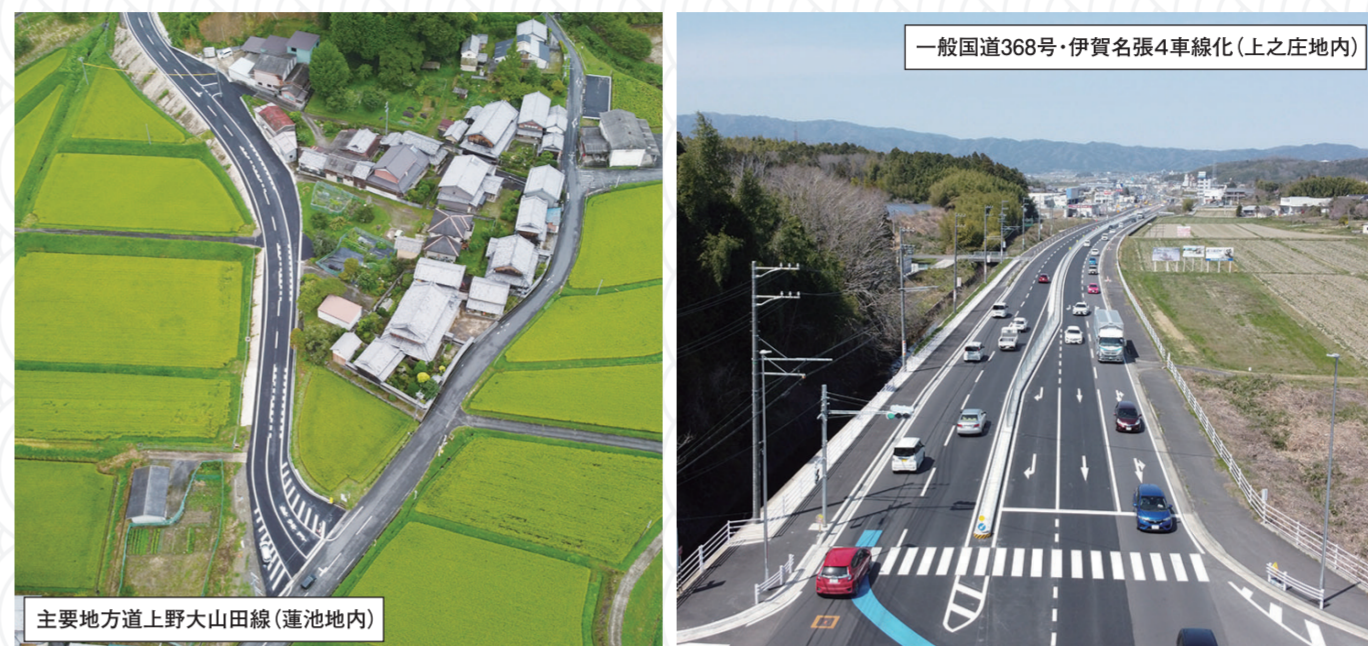
主要事業概要

交通基盤の整備

道路網整備の推進

道路改良事業

地域間連携の強化、防災拠点へのアクセス強化等を図るため、道路網の整備を進めます。



道路の適切な管理

土木パトロール

道路を安心して利用できるよう適切な維持管理を行います。



安全な生活の確保

防災対策の推進

耐震・落石対策事業

緊急輸送ルート確保のため、耐震性のある橋梁への架け替え等を進めます。また、道路への落石を未然に防止する対策を進めます。



交通安全対策の推進

交通安全対策事業

通学路等における歩道の整備、標識やガードレールなどの整備を進めます。



治水、土砂災害対策の推進

砂防・急傾斜事業

土石流や崩れ等の土砂災害から県民の生命・財産を守るため、砂防堰堤や擁壁等のハード対策と的確な避難体制の整備促進のためソフト対策を進めます。

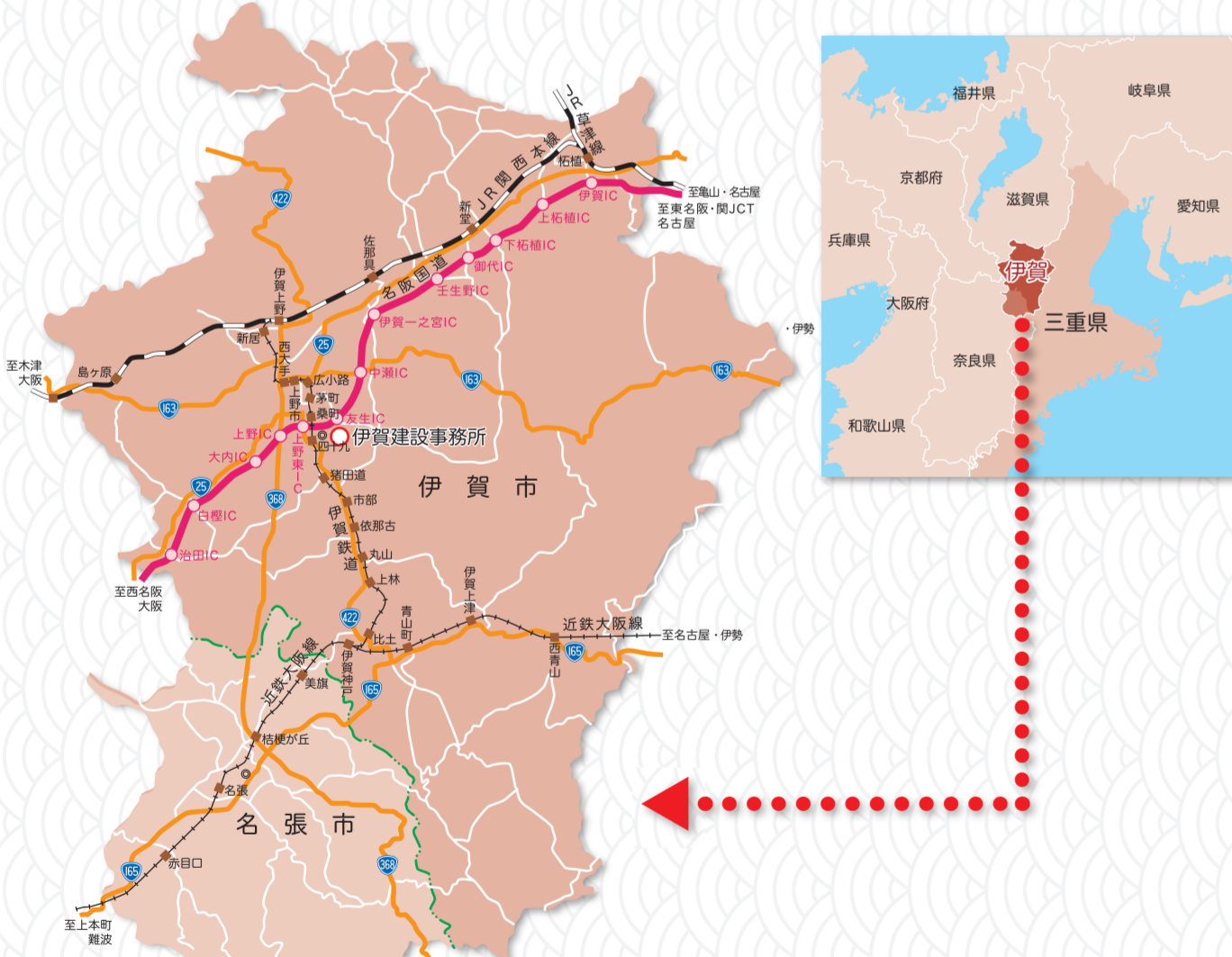


河川改修事業

洪水を防ぐための河川の築堤、護岸の改修、取水堰改修等の河川整備を進めます。



交通のご案内



- 車で**
 - 大阪から 約90分 西名阪～名阪国道、上野東IC下りる。
 - 名古屋から 約90分 東名阪～名阪国道、女生IC下りる。
- 近鉄で**
 - 大阪から 約90分 大阪線「伊賀神戸駅」乗り換え、伊賀鉄道「四十九駅」で下車。
 - 名古屋から 約2時間 名古屋線「伊勢中川駅」・大阪線「伊賀神戸駅」乗り換え、伊賀鉄道「四十九駅」で下車。
- JRで**
 - 大阪から 約2時間 関西本線「加茂駅」・「伊賀上野駅」乗り換え、伊賀鉄道「四十九駅」で下車。
 - 名古屋から 約2時間 関西本線「亀山駅」・「伊賀上野駅」乗り換え、伊賀鉄道「四十九駅」で下車。

お問い合わせ先は

三重県伊賀建設事務所 (伊賀庁舎6階)

〒518-8533 伊賀市四十九町2802
TEL:0595-24-8200 FAX:0595-24-8241
E-mail:gkenset@pref.mie.lg.jp
URL:https://www.pref.mie.lg.jp/GKENSSET/



伊賀建設事務所の組織



危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置について

平成30年度から最近の豪雨災害の特徴を踏まえて、水位計の設置されていない中小河川において被害が発生していることから、浸水被害の実績があり、多数の家屋や重要な施設の浸水の危険性が高い箇所へ危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置を進めています。



土木施設の災害復旧

災害復旧事業

台風や豪雨などにより、災害を受けた公共土木施設(道路・河川など)の復旧工事を行います。



まちづくりの推進

住民参画のまちづくり

自治会等による道路・河川の草刈りや美化ボランティア



管内の公共土木施設の現状

道路・橋梁の状況

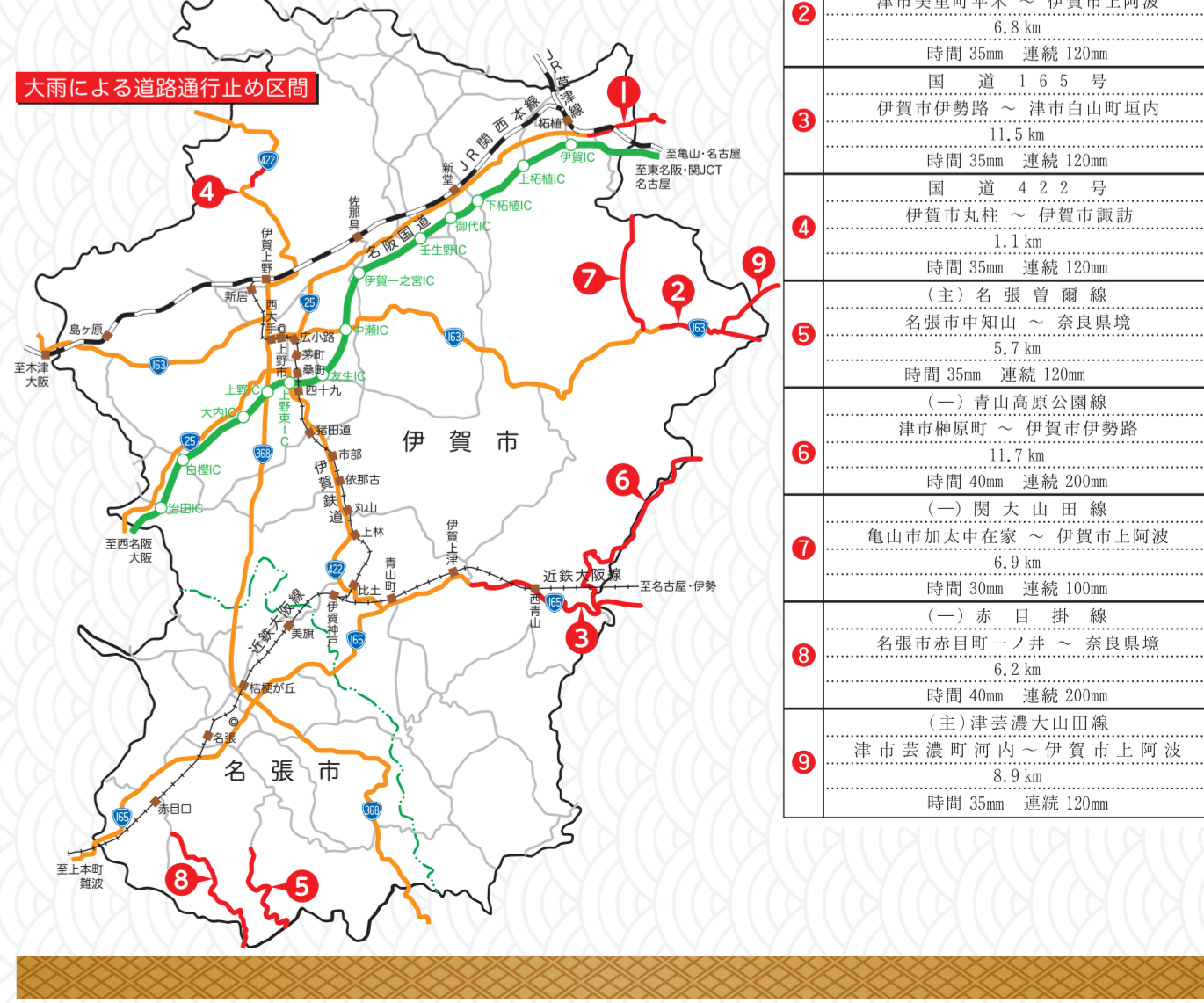
市	名称	別線	路線数	実延長(m)	改良済み延長(m)	改良率(%)	橋梁数
伊賀市	国道(県管理)	計	5	112,726.5	107,466.4	95.3	155
		一般道	38	234,221.6	161,367.1	68.9	243
名張市	国道(県管理)	計	43	346,948.1	268,833.5	77.5	398
		一般道	13	84,643.1	48,839.2	57.7	74
管内計	国道(県管理)	計	16	116,543.4	79,055.8	67.8	110
		一般道	48	144,626.8	137,683.0	95.2	191
		計	53	463,491.5	347,889.3	75.1	508

河川の状況

区分	河川数	延長(m)
一般河川(県管理)	12	61,270
一般河川(町管理)	46	384,061
合計	107	445,331

砂防の状況

砂防指定地	急傾斜地崩壊危険区域	地すべり防止区域	土砂災害警戒区域
16,435.57(ha)	255.27(ha)	110.53(ha)	2,254(箇所)



大雨による道路通行止め区間

路線名	通行止め区間	延長	通行止め理由
国道 25 号	亀山市北在家～伊賀市北原町	5.9 km	通行止め
①	伊賀市伊勢路～津市白山町町内	11.5 km	通行止め
②	津市東町町内～伊賀市上野東	6.8 km	通行止め
③	国道 165 号	11.7 km	通行止め
④	伊賀市伊勢路～津市白山町町内	11.5 km	通行止め
⑤	国道 422 号	1.1 km	通行止め
⑥	伊賀市丸柱～伊賀市丸柱	1.1 km	通行止め
⑦	津市丸柱～伊賀市丸柱	1.1 km	通行止め
⑧	津市丸柱～伊賀市丸柱	1.1 km	通行止め
⑨	津市丸柱～伊賀市丸柱	1.1 km	通行止め